



出エジプト記15:22-18章

Ex. 15:22-18: (検算中) 2014.1.10

癒	15:22-27	マラの水。苦水→甘水。	主が試みる(命令に従う) 痛いといへり。	いへり	祭司(いのち) (+3)
安	16:1-36	天からのパン。マナ/安息日。	主が試みる(命令に従う) 主への感謝(モーセに)	休む(安息) (主4)	主の栄光 (+4)
岩	17:1-7	メリバの水。岩が水。	主が試みる。(モーセとアロン) (杖) 杖で打つた。	岩は石か。	主。(争い) (+1)
幕	17:8-16	アマレクと戦う。モーセの手。	主の御座の上で。手が重し。アロンとミサカがさえる。	アロンは誰か? (主6)	アロンは誰か? (主6)
	18:1-27	シナイ山で。パロの手。	そばの座。エジプトが救出。	エジプト。手。百五十。そばがさえる。	アロンは誰か? (主5) みる (+2)

Ex. 23:25 主に仕えよ。パンと水と祝福する。痛いといへり。
 17:10 10: 水の飲み食い。岩が水。岩は石か。

Ex. 7:13 7:13 モーセの手。 19:-23: シナイ山。律法。
 7:14 8:-11: モーセvsパロ 24:-31: 幕屋。祭司(アロン)。
 12:-15:21 過越祭。海戦 32:-34: 金と銀。律法。
 15:22-18: 水。パン。そば。 35:-40: 幕屋(アロン)。
 ④ H6051巻

出エジプト記15章22節から18章まで。前半と後半、出エジプト記の前半が1章から18章まで、不思議とするしの段落。19章から40章が新しい天と新しい地、律法と幕屋というのが後半、ハレルヤとアーメンという構成になっていると思いますけれど、その前半です。不思議とするしの段落の最後、エジプトから連れ出された過越の話のあとのこと(前半)です。

前半というのは、不思議とするしによって王であり、祭司であるモーセが民を連れ出して新しい民が生まれる。そして、生まれた民にみことばを与えて新しい栄光ある幕屋、主が共にいてくださる民が作られるというところの前半です。前半の4段落目がこの15章22節から18章です。

水が癒され、マラの水、マナ、メリバの水、それで、なぜかアマレクと戦う話とイテロが裁きについて話す話がついています。エジプトから出て、水、いのちが与えられている安息の場所にまず入ったのですけれども、ちゃんと水とパンが与えられますよというところはわかるのですけれど、アマレクの話がまたちょっと出てきて、イテロの話は何だろうというところが難しいなと思ったところです。

マラの水は、主が試みた、モーセを試みたというような言い方になっています。天からのパン、マナが与えられる話も命令に従うかどうか主が試みる。メリバの水のところは、モーセを民が試みて主を試みているという、この試みるということが連携しています。最初のマラのところは、水を甘くするという通して病を癒される神様であるということです。いのちを与える神様である。いのちをもう一度与えるということなので、その段落の終わりはなつめやしの木があったということです。12の水の泉と70本

のいのちの木の象徴があります。いのちの水といのちの実があるというところでこの段落が終わります。

Ex. 15:22-18: (検討中) 2014.1.10

癒	15:22-27	マラの水. 苦水→甘水.	主が試みる(命令に幾多) ^(木) 痛いとい世可.	い世可	祭司(いのち) (+3)
安	16:1-36	天からのパン. マナ/安息日.	主が試みる(命令に幾多) 主に73歩(モーセに)	休む(安息)	(主4) 主の栄光 (+4)
岩	17:1-7	メリバの水. 岩が50の水.	主が試みる(モーセと群衆) (杖) 十人足打つた.	岩は誰かの?	王. (争い) (+1)
裁	17:8-16	アマレクと戦う. モーセの手.	主の御座の上の時. 手が重し. アロンとフルが支ええる	} 誰に仕えるのか? (主6)	} 裁きの座が2 岩は誰かの. (主5) みに3 (+2)
	18:1-27	ミデヤン祭司イテロ. パロの手. さばきの座.	裁き. 千人. 百人. 十人が支ええる. ^{1-12 イツナが救出. 13-26}		

次に荒野に入るのですけれども、ここでパン、マナが与えられて安息日の命令があります。ここで主の栄光が雲の中に現れるということで、ここにも主の栄光が現れて安息日を守る最初の命令が書かれています。それで、また水の話に戻るのですが、この3番目のメリバの水とアマレク、ミデヤンの祭司というところには、ナイルを打ったあの杖をとってという言い方で両方とも同じ杖が出てきます。アマレクの話とミデヤンのイテロの話の共通しているところは、モーセの手とエジプトのパロの手、主の御座というのが17章16節にあります。(アマレクと戦っている時)それは御座の上の手であるという。それと、18章13節からは裁きの座についてモーセということで、座です。手が重いということと、裁きが重い、民の裁きは重荷であるということで、重い手をアロンとフルが支えている。モーセの重荷を千人、百人と分けた者が支えているというのが共通しているところだと思います。

Ex. 15:22-18: (検討中) 2014.1.10

癒	15:22-27	マラの水. 苦水→甘水.	主が試みる(命令に幾多) ^(木) 痛いとい世可.	い世可	祭司(いのち) (+3)
安	16:1-36	天からのパン. マナ/安息日.	主が試みる(命令に幾多) 主に73歩(モーセに)	休む(安息)	(主4) 主の栄光 (+4)
岩	17:1-7	メリバの水. 岩が50の水.	主が試みる(モーセと群衆) (杖) 十人足打つた.	岩は誰かの?	王. (争い) (+1)
裁	17:8-16	アマレクと戦う. モーセの手.	主の御座の上の時. 手が重し. アロンとフルが支ええる	} 誰に仕えるのか? (主6)	} 裁きの座が2 岩は誰かの. (主5) みに3 (+2)
	18:1-27	ミデヤン祭司イテロ. パロの手. さばきの座.	裁き. 千人. 百人. 十人が支ええる. ^{1-12 イツナが救出. 13-26}		

最初の二つは、癒す神様、休ませてくださる神様であるという祭司、いのちを与える祭司の働きと、岩は誰なのか、救いの岩は誰なのかというメリバの水が出てくる岩の話とアマレクとイテロのところでは、わたしのほかに岩はないということをあらわす出来事である。主の祈りの4番目「パンが与えられますように」というのがマナの話である。アマレクの話とイテロの裁きの座の話は主の祈りの6番目と5番目だと思います。前半が祭司、後半は王ということです。もちろん安息日の命令、十戒の4番目の話がここに入っていますので、それで考えると最初は御名の栄光が聖であることがあらわされたマラの水、次に安息日を守ること、主のほかに岩はないというのが十戒の1番目を表すこと。そして、誰に仕えるのかという、国々を倒した者に仕えることになります。ですので、国々ではないということが明らかになったというのは、イテロも言っていました。18章

11節で「主があらゆる神々に勝って偉大であることを知りました」ということを言っていますので、こちらが十戒の2番目に当たるのかなと分析しています。

Ex. 23:25 主に仕え、パンと水と祝福を、病いぬ。
12/18 10: 聖の飲や食、若く5の水、若く7の外。

Ex. 7:13	モーセ王	R 20	モーセ
7:-4:	モーセの生れ	19:-23:	シイム、律法
7:14 8:-11:	モーセvsパロ	24:-30:	幕屋 祭司 (70/12)
12:-15:21	過越祭 海歌	32:-34:	金34、律法
15:22-18:	木、パン、静さ	35:-40:	幕屋 (70/8)
			④ 46051表

Ex. 20: X91バ、聖なる者として守られた。

出エジプトの1章から18章まで、もちろん出エジプトと言われるストーリーですが、その連れ出したあとのいのちを与えるというところの（少し短めですが）段落で、過越の祭りを祝う時にももちろんパンが与えられるということも思い出さなくてはいけないということです。一連の救いのストーリーの結論部分になっていると思いますけれども、この15章から18章がもっと大々的に19章から40章で表されているということも言えると思います。